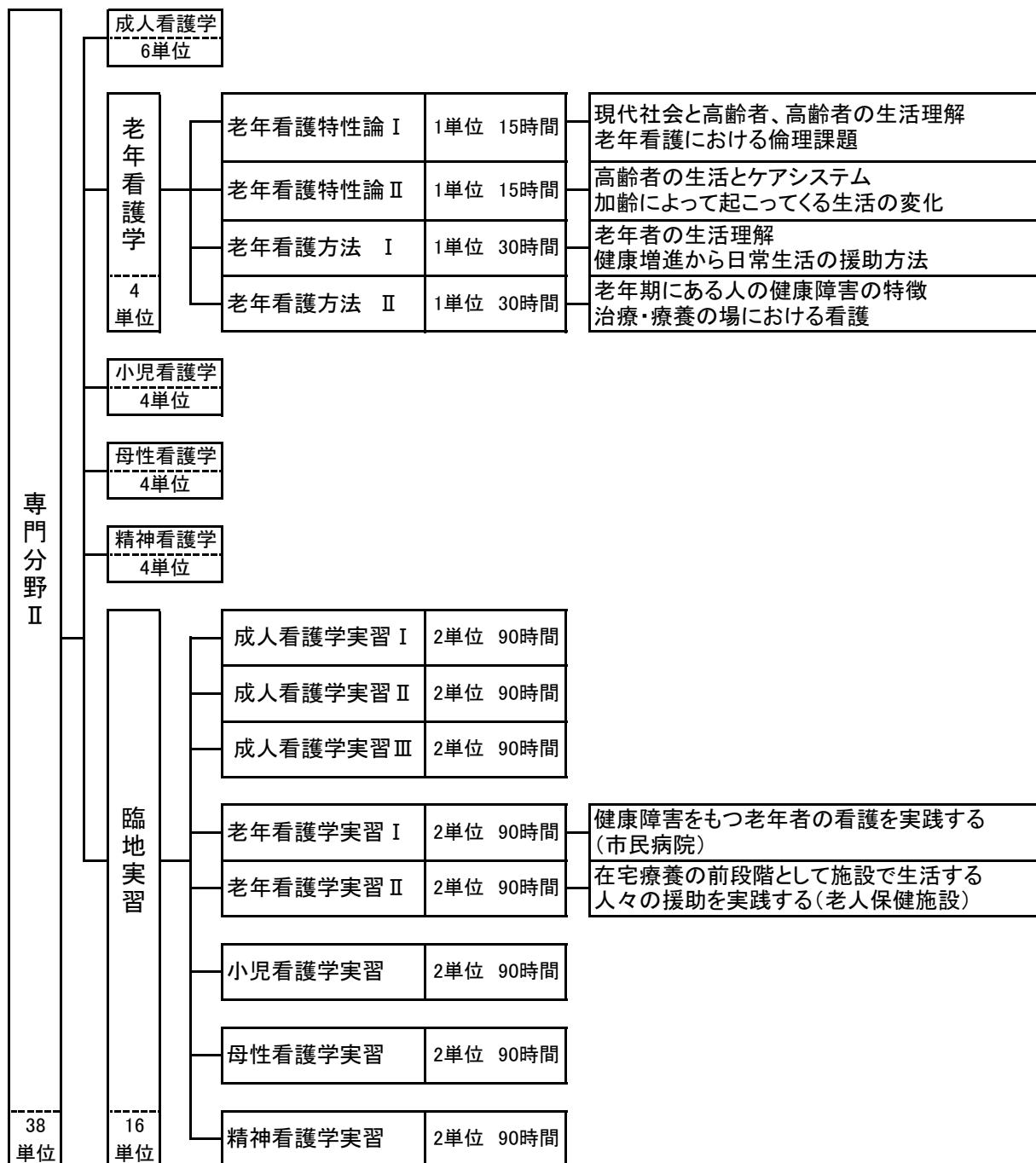


(4) 専門分野Ⅱ

【ねらいと構成】

老年看護学で、対象となる高齢者の加齢による心身の変化と、対象を取り巻く環境について理解を深め、加齢変化を踏まえて、対象の健康維持増進、健康管理、日常生活の援助方法について学習する。



科目群: 専門分野Ⅱ

2年度	授業科目	老年看護特性論Ⅰ	担当教員	今井 清美	単位(時間数)	1(15)
第1学年					担当時間数	15
授業科目に関連した実務経験の内容		看護師臨床経験17年 認知症看護認定看護師経験9年				
実務経験を活かした実践的な授業内容		病院勤務、認知症看護認定看護師としての看護の経験に基づいた講義により、老年期にある対象の看護を学ぶ。				
学習目的・目標	<p>目的: 高齢者と高齢者を取り巻く社会・生活について学ぶ。</p> <p>目標: 1. 高齢者の身体的、精神的、社会的特徴を理解する。 2. 高齢者擬似体験から、加齢による心身の変化と生活スタイルへの影響を考える。 3. 地域で生活する高齢者とコミュニケーションをはかり、ライフスタイルや価値観について考える。</p>					
回数	月日		方法	場所	教科書	
1	/	1-1. 高齢者の理解 1) ライフサイクルからみた高齢者 2) 高齢者の統計学的特徴 3) 老年期の特徴と高齢者の理解 4) 高齢者にとっての健康、QOL	講義	教室	①	
2	/	1-2. 高齢者の理解 1) 加齢に伴う変化と生活 2) 高齢者の理解とコミュニケーション	講義	教室	①	
3	/	2-1. グループワーク ・テーマ「老年期にある人々の生活を理解する」	グループワーク	教室	① ②	
4	/	2-2. グループワーク ・テーマ「老年期にある人々の生活を理解する」	グループワーク	教室	① ②	
5	/	3. グループワーク発表 ・テーマ「老年期にある人々の生活を理解する」	発表	教室	① ②	
6 7	/	4. 高齢者擬似体験	講義 校内実習	教室	① ②	
8	/	試験 45分		教室		
評価方法	試験は45分で実施します。配点は筆記試験75点、課題25点で評価します。					
教科書	①『高齢者の健康と障害』(ナーシング・グラフィカ 老年看護学①) メディカ出版 ②『高齢者看護の実践』(ナーシング・グラフィカ 老年看護学②) メディカ出版					
参考書						
履修上の留意点						

※実務経験は令和2年4月1日現在

科目群: 専門分野Ⅱ

3年度	授業科目	老年看護特性論Ⅱ	担当 教員	今井 清美	単位(時間数)	1(15)
第2学年					担当時間数	15
授業科目に関連した 実務経験の内容		看護師臨床経験17年 認知症看護認定看護師経験9年				
実務経験を活かした 実践的な授業内容		病院勤務、認知症看護認定看護師としての看護の経験に基づいた講義により、老年期にある対象の看護を学ぶ。				
学習 目的 ・ 目標	目的: 高齢者とその生活を理解し、支える看護の考え方を学ぶ。 目標: 1. 高齢者看護にかかわる理論や倫理的課題について説明できる。 2. 高齢者の健康増進、介護予防活動について説明できる。					
回数	月日	学習内容	方法	場所	教科書	
1	/	1. 高齢者と家族 ・高齢者と家族のライフサイクル、高齢者と家族の関係	講義	教室	①	
2	/	2. 高齢者を支える制度と社会資源 ・医療保険制度、介護保険制度、年金制度、成年後見制度	講義	教室	①	
3	/	3. 高齢者看護の基本 ・ケアの特徴、高齢者看護に関する諸理論、倫理的課題	講義	教室	①	
4	/	4. 高齢者の生活アセスメント ・身体アセスメントの特徴、包括的な機能のアセスメント	講義	教室	①	
5	/	5. 高齢者のケアマネジメント・リスクマネジメント ・ケアマネジメントの目的、方法 ・リスクマネジメントの考え方、展開	講義	教室	①	
6	/	6-1. 高齢者の健康づくり、介護予防 ・運動器の機能向上、口腔機能の向上	講義	教室	①	
7	/	6-2. 高齢者の健康づくり、介護予防 ・閉じこもり予防、認知症予防、うつ予防	講義	教室	①	
8	/	試験45分		教室		
評価方法	試験は45分で実施し、配点は100点です。					
教科書	①『高齢者の健康と障害』(ナーシング・グラフィカ 老年看護学①) メディカ出版					
参考書						
履修上 の 留意点						

※実務経験は令和2年4月1日現在

科目群: 専門分野 II

3年度	授業科目	老年看護方法 I	担当教員	今井 清美	単位(時間数)	1(30)
第2学年					担当時間数	30
授業科目に関連した実務経験の内容		看護師臨床経験17年 認知症看護認定看護師経験9年				
実務経験を活かした実践的な授業内容		病院勤務、認知症看護認定看護師としての看護の経験に基づいて、看護援助の具体的な方法を講義・演習に取り入れている。				
学習目的・目標	目的: 老年者の生活を理解し、健康増進から日常生活の援助方法について学ぶ。 目標: 1. 生活の特徴をアセスメントし、セルフケア支援の方法を理解する。 2. 高齢者の生活機能に基づいた、看護介入方法を理解する。					
回数	月日	学習内容	方法	場所	教科書	
1	/	1. 食事 ・高齢者の食生活、必要な栄養とエネルギー	講義	教室	① ② ③	
2	/	2. 食生活 ・セルフケア支援のポイント、口腔の清潔、義歯の取り扱い	講義	教室	① ② ③	
3	/	3. 排泄 ・加齢による排泄の変化、排泄動作に必要な主な生活機能	講義	教室	① ② ③	
4	/	4. 排泄 ・セルフケア支援のポイント、陰部洗浄とおむつ交換 (グループで手順書作成、実施)	GW	実習室	① ② ③	
5	/		校内実習			
6	/	5. 排泄 ・セルフケア支援のポイント、陰部洗浄とおむつ交換 (グループ発表、リフレクション)	GW	実習室	① ② ③	
	/		校内実習			
7	/	6. 活動と休息 ・高齢者の活動と休息の特徴、廃用症候群	講義	教室	① ② ③	
8	/	7. 活動と休息 ・廃用症候群予防のためのアセスメント、セロ測定	講義	実習室	① ② ③	
	/		校内実習			
9	/	8. 活動と休息 ・活動と休息への支援、ROM運動	講義	実習室	① ② ③	
	/		校内実習			
10	/	9. 清潔 ・セルフケア支援の方法、スキンケア	講義	教室	① ② ③	
11	/	10. 清潔 ・感染のリスクアセスメント、感染症ケア	講義	教室	① ② ③	
12	/	11. コミュニケーション ・困難にする要因、看護とコミュニケーション技術	講義	教室	① ② ③	
	/	12. 住まい ・住環境のアセスメント				
13	/	13. 社会参加 ・地域における高齢者の社会参加	講義	教室	① ②	
14	/	14. 施設における暮らし ・老人保健施設、特別擁護老人ホーム、グループホーム	講義	教室	① ②	
15	/	試験、授業のまとめ		教室		
評価方法	試験は45分で実施します。配点は筆記試験85点、課題15点で評価します。					
教科書	①『高齢者の健康と障害』(ナーシング・グラフィカ 老年看護学①) メディカ出版 ②『高齢者看護の実践』(ナーシング・グラフィカ 老年看護学②) メディカ出版 ③『生活機能からみた老年看護過程』 医学書院					
参考書						
履修上の留意点						

※実務経験は令和2年4月1日現在

科目群: 専門分野 II

3年度	授業科目	老年看護方法 II	担当教員	今井 清美	単位(時間数)	1(30)
第2学年					担当時間数	30
授業科目に関連した実務経験の内容		看護師臨床経験17年 認知症看護認定看護師経験9年				
実務経験を活かした実践的な授業内容		病院勤務、認知症看護認定看護師としての看護の経験に基づいた講義により、老年期にある対象の看護を学ぶ。				
学習目的・目標	目的: 疾患や障害をもつ高齢者の看護について学ぶ。 目標: 1. 高齢者に多い健康障害が生活に及ぼす影響を理解する。 2. 生活機能の視点から望ましいケアの方法を理解する。					
回数	月日	学習内容	方法	場所	教科書	
1	/	●高齢者看護実習の基本、目指すもの 1. 入院を必要とする高齢者の看護	講義	教室	① ②	
2	/	誤嚥性肺炎の症状と看護	講義	教室	① ② ③	
3	/	2. 薬物療法を受ける高齢者の看護 高血圧から心不全を併発した高齢者	講義	教室	① ②	
4	/	心不全の症状と生活への影響とケア方法	講義	教室	① ② ③	
5	/	3. パーキンソン病 パーキンソン病の高齢者の看護	講義	教室	① ② ③	
6	/	4. リハビリテーションを受ける高齢者の看護 感覚器に障害をもつ高齢者の看護	講義	教室	① ② ③	
7	/	5. 認知症のある高齢者の看護 病態の理解、中核症状に対するケア	講義	教室	① ② ③	
8	/	BPSDに対するケア、薬物療法 食事・帰宅願望・排泄ケア、レクリエーション	講義	教室	① ② ③	
9	/	6. 看護過程の展開 入院中の看護 ～脳梗塞の事例～ <3-2>の書き方と理解	講義	教室	① ② ③	
10	/	<3-3> パターン1~3の書き方と理解	講義	教室	① ② ③	
11	/	<3-3> パターン4~11の書き方と理解 まとめ	講義	教室	① ② ③	
12	/	7. 看護過程の展開 介護老人保健施設での看護 ～脳梗塞の事例～	講義	教室	① ② ③	
13	/	<1>基本情報、<2>疾患関連情報の書き方と理解	講義	教室	① ② ③	
14	/	<3>生活行動情報、<4>看護援助の書き方と理解	講義	教室	① ② ③	
15	/	試験、授業のまとめ		教室		
評価方法	試験は45分で実施します。配点は筆記試験60点、課題20点、小テスト20点で評価します。					
教科書	①『高齢者の健康と障害』(ナーシング・グラフィカ 老年看護学①) メディカ出版 ②『高齢者看護の実践』(ナーシング・グラフィカ 老年看護学②) メディカ出版 ③『生活機能からみた老年看護過程』第3版 医学書院					
参考書						
履修上の留意点						

※実務経験は令和2年4月1日現在